

移り行く季節

園長 川名マミ

2学期、9月から12月まで季節が魔法のように山々や園庭の樹々の色を染めていきます。自然界の変化と重ねて子どもたちも薄皮を重ねるように成長します。水や砂、土、草花や虫たちにかかわることで感性が刺激され、教えるのではなく感じて成長していきます。これが幼児教育の真髄である環境を通じて行う教育なのです。自然環境はもとより、保育室の先生たちが用意したいろいろな素材や子どもたちの興味関心を引き出す準備、タベルの先生たちが旬を意識して用意してくれる給食、周りにいる友だち、幼稚園や保育園の環境すべてがこの時期の子どもたちの成長を促します。幼児教育は環境による教育。このことを保護者の皆様と共感して2023年の保育も行っていきたくと思います。2023年が皆様方にとって素晴らしい年になりますように。



先生たち頑張っています ～幼保合同研修会～

12月10日 幼稚園・保育園での合同研修会を行いました。

今回の研修のテーマは「色 ～色の基本と色を与える印象について～」

講師は、子ども達の絵画活動を支えてくださる加藤先生です。

Session1 「色の基本」

色相環の作成や、色そのものが持つ性質や特性についてのお話等、ワーク形式で行いました。



Session2 「ビジュアルで選んだ絵本」

各自が内容ではなく、ビジュアルのみ重視して選んだ自分の好きな絵本を、「色の基本」で学んだことを踏まえ、絵本に使われている「色の数」「余白」「構成」「印象」等の分析を行います。その上で「なぜ自分が惹かれるのか・魅力的な印象を持つのか」を自己分析していきます。

自己分析した物をグループに分かれて、自分が良いと思った絵本のプレゼンを行い、グループ内から感想や印象のフィードバックを受け取ります。

保育者一人一人が、様々な内容の研修を受けて「学ぶ」「学び直す」ことは、子ども達の日々の保育に必ず還元されていきます。

今回は「色」テーマに研修は行われました。日々、保育室の環境を作っていく保育者は、子ども達の「居心地が良い」や「楽しい」「落ち着く」空間づくりに努めています。今回の研修が活かされ、また3学期から元気なみんなの声が聞こえてくる事を楽しみにしています。

